



# レトロの美

Retro no Bi

## 生駒ビルディング

大阪市中央区



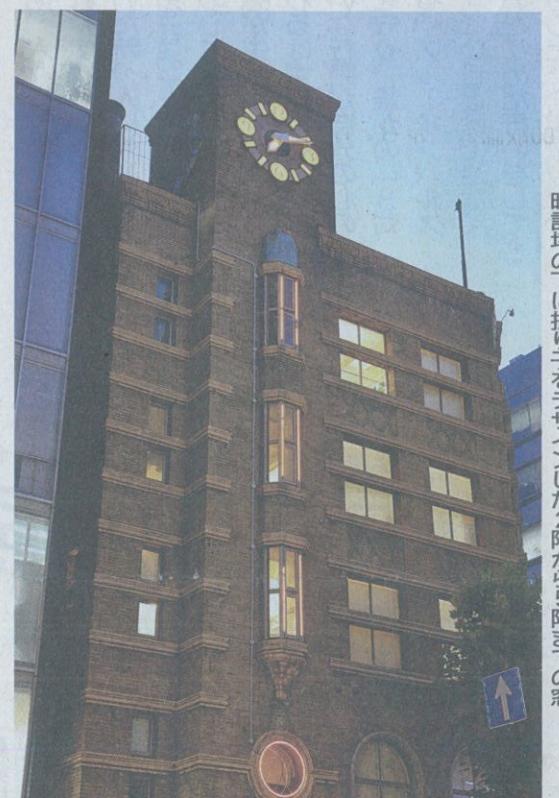
裏階段を最上階からのぞくと、吹き抜け構造になっているのが分かる



## 空襲も震災も乗り越え

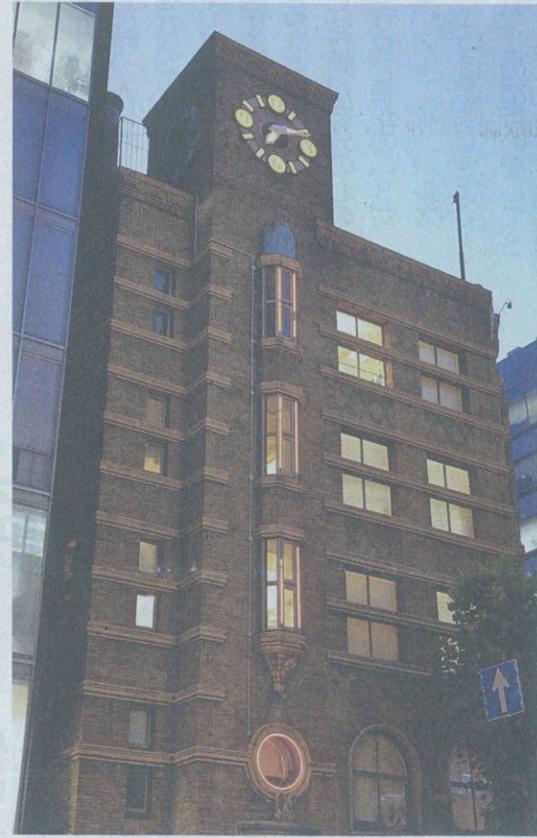
大阪・北浜の堺筋沿いのオフィス街で、アール・デコ調の建築様式を取り入れた築90年のビルが現役で使われている。1930（昭和5）年、輸入時計などを扱つ

られている。第二次大戦中は度重なる空襲に見舞われたが、堅固なコンクリート壁のお陰で戦災を免れた。地下には松の丸太約500本を使った基礎くいが打たれ、



## 生駒ビルディング

大阪市中央区



くし目模様のスクラッチタイルが張られている=いずれも大阪市中央区で



裏階段を最上階からのぞくと、吹き抜け構造になっているのが分かる

## 空襲も震災も乗り越え

大阪・北浜の堺筋沿いのオフィス街で、アール・デコ調の建築様式を取り入れた築90年のビルが現役で使われている。1930（昭和5）年、輸入時計などを扱っていた生駒商店（現生駒時計店）の本店として建てられた「生駒ビルディング」（大阪市中央区平野町）だ。

関西建築界の重鎮とされた宗兵蔵氏の設計。外壁にはくし目模様のついたスクラッチタイルを張り、テラコッタの装飾が施されている。入り口やショーウィンドーの上部7カ所には御影石製のワシの彫刻が据え

られている。第二次大戦中は度重なる空襲に見舞われたが、堅固なコンクリート壁のお陰で戦災を免れた。地下には松の丸太約500本を使った基礎くいが打たれ、阪神大震災でも被害はなかったという。

現在は高級感を生かし、コンシェルジュのサービスもあるテナントビルとして活用されている。ビルのシンボルである屋上の時計塔は今も時を刻みながら、変化し続ける大阪の街を見つめている。

写真・文 大西達也

